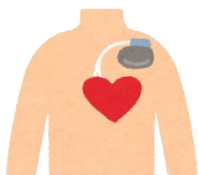


『ペースメーカーって何？』



しもじ内科クリニック院長
下地 栄壮

ペースメーカーは、心臓の拍動が遅くなりすぎたときに、電気刺激を与えて正常なリズムを保つための機械です。心臓のリズムが乱れる不整脈の中で、脈が遅くなる“徐脈性不整脈”の治療に使われます。

【ペースメーカーの構造と働き】

👉 **本体（発振器）：** 電池と信号を発生する電気回路とマイクロコンピュータが内蔵されており、心臓に電気刺激を送る役割を担います。表面は頑丈なチタンという金属ケースで覆われ、内部は密閉されています。コンピュータは治療記録を保存しており、適切な治療が行われているか定期的に確認します。通常は胸の皮下に埋め込まれます。

👉 **リード（電極）：** 本体から伸びる細い電線で、心臓の中に挿入され、24 時間心臓の電気信号を観察しその状態をペースメーカー本体に即時に伝えます。

脈が遅くなったときに自動的に電気刺激を送って心拍を補います。

【ペースメーカーが必要な不整脈】

👉 洞不全症候群（どうふぜんしょうこうぐん）

心臓のリズムを作る洞結節の働きが弱くなり、脈が極端に遅くなったり止まったりする不整脈です。

👉 房室ブロック（ぼうしつブロック）

心房から心室への電気信号がうまく伝わらなくなる不整脈です。心室が心房とは関係なく独自にゆっくりとしたリズムで収縮します。

👉 徐脈性心房細動（じょみゃくせいしんぼうさいどう）

脈が不規則になる心房細動で、心拍数が 50 回/分以下になるケースがあります。

これらの不整脈では、脳や全身に必要な血液が十分に行きわたらなくなり、めまい、ふらつき、失神、倦怠感などの症状が現れます。放置すると突然死のリスクもあるため、ペースメーカーによる治療が検討されます。



しもじ内科クリニック(nico nico studio)

東区三苦 3 丁目 2-49(福岡銀行美和台支店隣り)
TEL:092-605-6300